

令和6年度 東京都立日比谷高等学校学校運営連絡協議会実施報告書

I 組織

- (1) 東京都立日比谷高等学校 学校運営連絡協議会
開催方法：対面式会議
- (2) 事務局の構成
主幹教諭（教務主任兼務）＝事務局長、主任教諭1名、広報担当教諭1名 計3名
- (3) 内部委員の構成
校長、副校長、経営企画室長、教務部主任、生活指導部主任、進路指導部主任
グローバル事業部主任、教諭（書記）、広報担当教諭 計9名
- (4) 協議委員の構成
保護者代表1名、地域代表1名、近隣中学校代表1名、関係機関代表3名、
学識経験者2名、民間企業1名 計9名

II 令和6年度学校運営連絡協議会の概要

(1) 第1回

日時：令和6年5月24日（金）午後3時30分～5時00分

場所：本校会議室

司会：副校長 青木 正信

記録：事務局員 井上 真吾

<議 事>

- | | | | |
|---|-----------------------------|-----------------|-------------|
| 1 | 校長挨拶 | 校 長 萩原 聡 | 15:30 |
| | 協議委員委嘱及び評価委員委嘱 | | |
| 2 | 委員紹介（別紙「委員一覧」順に自己紹介をお願いします） | | 15:35 |
| 3 | 防災教育推進委員会及び宿泊防災訓練実施要領 | 副校長 青木 正信 | 15:40 |
| | 【意見交換】 | | 15:45～16:00 |
| 4 | 学校の教育活動の現状について | | |
| | 令和6年度学校経営計画を踏まえて | 校 長 萩原 聡 | 16:00 |
| 5 | 令和5年度学校運営連絡協議会（報告） | 事務局 戸田 勝昭 | 16:10 |
| 6 | 令和6年度自律経営推進予算について | 経営企画室長 山口 昌士 | 16:13 |
| 7 | 学校概況の報告及び協議（各3～4分） | | 16:16～16:30 |
| ① | 教務部 | 教務部主任 米村 潤史 | |
| ② | 生活指導部 | 生活指導部主任 小出 峰仁 | |
| ③ | 進路指導部 | 進路指導部主任 永田 智 | |
| ④ | グローバル事業部の取組 | グローバル事業部主任 平山 大 | |
| | 【意見交換】 | | 16:30～17:00 |

【配布資料】

- ① 学校運営連絡協議会設置要綱及び委員一覧
- ② 防災教育推進委員会設置要綱及び委員一覧
- ③ 令和6年度避難訓練実施報告・予定等
- ④ 令和5年度学校経営報告
- ⑤ 令和6年度学校経営計画
- ⑥ 令和5年度各分掌組織目標報告
- ⑦ 令和6年度各分掌組織目標
- ⑧ 令和5年度学校運営連絡協議会（報告）
- ⑨ 令和5年度第3回学校運営連絡協議会議事録
- ⑩ 令和6年度自律経営推進予算
- ⑪ 令和6年度年間行事予定表
- ⑫ 令和6年度入選倍率
- ⑬ 令和6年度保護者授業公開アンケート結果
- ⑭ 令和6年度進路指導部実施計画
- ⑮ 令和6年度第3学年模擬試験年間計画
- ⑯ 令和6年度入試大学別合格者（延べ数）
- ⑰ 令和6年度第3学年春季進路調査集計結果（当日配布）
- ⑱ 令和6年度グローバル事業部 SSH 年間計画
- ⑲ 令和6年度 同 事業部 GE-NET20 年間計画

(2) 第2回

日 時：令和6年10月25日（金） 午後3時30分～午後5時00分

場 所：本校会議室

開催方法：対面式会議

司 会：副校長 青木 正信

記 録：事務局員 井上 真吾

<議 事>

- | | | | | |
|---|--------------------|---------|-----------------|-------|
| 1 | 校長挨拶 | (5分) | 校 長 萩原 聡 | 15:30 |
| 2 | 防災教育推進委員会 | (15分) | 副校長 青木 正信 | 15:35 |
| 3 | 学校概況の報告及び協議 | (各3～4分) | | 15:50 |
| ① | 学校施設・自律経営推進予算等について | | 経営企画室長 山口 昌士 | |
| ② | 教務部 | | 教務部主任 米村 潤史 | |
| | ・令和7年度入学者選抜について | | | |
| ③ | 生活指導部 | | 生活指導部主任 小出 峰仁 | |
| | ・行事・生徒会について | | | |
| | ・生活指導について | | | |
| ③ | 進路指導部 | | 進路指導部主任 永田 智 | |
| | ・大学入学共通テストの出願について | | | |
| | ・3年生の動向 | | | |
| ④ | グローバル事業部の取組について | | グローバル事業部主任 平山 大 | |
| 4 | 意見交換 | (30分) | | 16:05 |
| 5 | 令和6年度学校評価アンケートについて | (25分) | | 16:35 |
| | アンケート内容と日程の検討 | | 副校長 青木 正信 | |

【配布資料】

【防災教育推進委員会】資料

- | | | |
|---|-----------------------------------|---------|
| ① | 地域と連携した防災訓練及び避難所設営・運営訓練実施要項（生活指導） | (資料3-1) |
| ② | 防災訓練（第2回避難訓練）実施要項（生活指導） | (資料3-2) |
| ③ | 9月1日の避難訓練について（生活指導） | (資料3-3) |

【学校運営連絡協議会】資料

- | | | |
|---|---------------------------------------|---------|
| ④ | 令和6年度分掌中間総括（副校長） | (資料1) |
| ⑤ | 令和7年度都立高等学校入学者選抜実施要項・同細目について（教務） | (資料2-1) |
| ⑥ | 令和7年度都立高等学校入学者選抜における主な変更点等について（教務） | (資料2-2) |
| ⑦ | 令和7年度入選日程（教務） | (資料2-3) |
| ⑧ | 令和6年度合唱祭のお知らせ（生活指導） | (資料4-1) |
| ⑨ | 令和6年度星陵祭のお知らせ（生活指導） | (資料4-2) |
| ⑩ | 星陵祭における公演中の写真撮影及び動画撮影の禁止について（生活指導） | (資料4-3) |
| ⑪ | 星陵祭来場者数推移（生活指導） | (資料4-4) |
| ⑫ | 現3年生の状況（進路指導） | (資料5-1) |
| ⑬ | 令和6年3月卒業生の進路状況（進路指導） | (資料5-2) |
| ⑭ | 令和6年度理数探究発展ポスター集（グローバル事業） | (資料6-1) |
| ⑮ | SSH国内（北海道）派遣研修の感想まとめ（グローバル事業） | (資料6-2) |
| ⑯ | 令和6年度SSH海外研修ポストン・ニューヨーク研修感想集（グローバル事業） | (資料6-3) |
| ⑰ | 令和6年度GE-NET20指定校事業実践事例報告集（グローバル事業） | (資料6-4) |
| ⑱ | 令和6年度SSH事業報告（グローバル事業） | (資料6-5) |
| ⑲ | 令和6年度学校評価アンケート | |

(3) 第3回

日 時：令和7年3月3日（月） 午後3時30分から午後5時00分

場 所：本校 視聴覚室

開催方法：対面式会議

司 会：副校長 青木 正信

記 録：事務局員 井上 真吾

<議 事>

- | | | | | |
|---|---------------|-----------|----------|-----------|
| 1 | 校長挨拶 | (5分) | 校 長 萩原 聡 | 3:30～3:35 |
| 2 | 報告 本校の現状と取り組み | (15分・各3分) | | 3:35～3:50 |

- | | | | |
|---------------------------------|------------|-------|-----------|
| ① 教務部 | 教務主任 | 米村 潤史 | |
| ・令和7年度入学者選抜について | | | |
| ② 生活指導部 | 生活指導主任 | 小出 峰仁 | |
| ・在校生近況報告 | | | |
| ③ 進路指導部 | 進路指導主任 | 永田 智 | |
| ・令和6年度大学入試結果中間報告 | | | |
| ④ グローバル事業部の取組 | グローバル事業部主任 | 平山 大 | |
| ・事業報告と来年度に向けて | | | |
| ⑤ 星陵セミナーについて | 第2学年主任 | 阪下ちづる | |
| 3 意見交換 | (30分) | | 3:50~4:20 |
| 4 協議 令和6年度学校評価アンケート結果について (30分) | | | 4:20~4:50 |
| ① 評価委員会報告 | 評価委員会 事務局 | 戸田 勝昭 | |
| ② 協議 | | | |
| 5 協議委員評価アンケートについて | | | 4:50~5:00 |
| ※協議会終了後郵送にて御提出ください。 | | | |

6 事務連絡

【配布資料】

- | | |
|---------------------------|--------|
| ① 第3回学校運営連絡協議会次第 | |
| ② 令和7年度入学者選抜状況 | (資料 1) |
| ③ 令和7年度年間行事予定 | (資料 2) |
| ④ 第2回学校運営連絡協議会記録 | (資料 3) |
| ⑤ 生活指導部関連資料 | (資料 4) |
| ⑥ 進路指導部関連資料 | (資料 5) |
| ⑦ グローバル事業関連資料 | (資料 6) |
| ⑧ 令和6年度星陵セミナー講師・講義内容一覧表 | (資料 7) |
| ⑨ 評価委員会報告・学校評価アンケート考察 | (資料 8) |
| ⑩ 令和6年度学校評価アンケート集計結果・自由記述 | |
| ⑪ 協議委員評価アンケート | |

(4) 評価委員会の開催日時、会場、出席者、内容、その他

第1回 令和6年10月8日(火) 午後2時30分から午後4時00分

内部委員 2名、協議委員 1名

学校評価案アンケート「生徒」「保護者」「教職員」「自由記述」
Teams 及びClassi によるオンラインにより実施する。

第2回 令和7年 2月13日(木) 午後2時30分から午後4時00分

内部委員 2名、協議委員 1名

学校評価案アンケート「集計結果、分析・検証結果」(案)の質疑、協議、提言

Ⅲ 学校運営連絡協議会による学校評価

(1) 学校評価の観点及び主な評価項目

- | | | | | |
|-------|-------------|----------|-------|-------|
| ・学校経営 | ・学校生活全般 | ・学習指導 | ・進路指導 | ・生活指導 |
| ・学校行事 | ・部活動 | ・グローバル事業 | ・防災教育 | ・読書指導 |
| ・学習時間 | ・ワークライフバランス | | | |

(2) アンケート調査の実施時期・対象・規模

- ・オンラインにより実施
- ・11月 全校生徒 940名 保護者全員 940名 教職員 64名
- ・回収率 生徒908名(96.6%) 保護者786名(83.6%) 教職員64名(100%)

(3) 評価結果の概要

- ・生徒の91%が入学して良かったと感じ、保護者の96%が満足感を得ている。
- ・アンケートの回収率は、生徒908名(96.6%) 保護者786名(83.6%) 教職員64名(100%)であった。本校への関心は非常に高く、三者(生徒・保護者・教職員)から評価されていると受け止めている。
- ・保護者、生徒、教員とも「全体的に教育内容」を高く評価しており、保護者、生徒の学校への信頼が非常に高いことがうかがえる。

(4) 評価結果の主な自由意見

- ① 学校経営・学校生活全般について

<生徒>

- ・全館一括管理の空調を改善してください。教室によって日の当たり方が異なり、階によっても温度差があるのに、全教室同じ温度設定は苦しいです。また、朝も8:00が過ぎてからしか教室のエアコンがつかないため、教室で勉強をしたり、クラス活動をしたりする意欲ある生徒の妨げになっています。各教室で自由に操作ができないばかりに体調を悪くする生徒もいるので、早急な解決をお願いします。
- ・芸術選択でクラス分けが決められるのを本当にやめてほしい。芸術の授業の日に、三科目に分かれてしまうのは確かに良くないと思うけれど、書道クラスに入った音楽選択の人が翌年は必ず美術クラスに入れられるという決まりがとても良くないと思う。一クラスの中に芸術が二種類になるように分けるのは賛成だが、音楽選択の生徒が、書道クラス、美術クラス、のどちらかになってしまうのはありえない。

<保護者>

- ・学校のホームページの閲覧対象が受験生向けになっているように思います。内容も古いまま更新されていないので、日々の活動や取り組みを発信していただいて子どもたちが頑張っている様子など、在校生の保護者が見たくなるような内容になったらうれしいです。
- ・休憩時間に学習活動以外の仕事が入りすぎている。普段の学校生活でも昼休みが潰されることが慢性化しているが、合唱祭では委員の昼食時間が4分と記されていた。これが企業であれば労働基準監督署から指導が入る。企業ではないから学生の休憩時間は搾取して良い、という事ではないでしょう。休憩時間は次により良いパフォーマンスをするために確保すべきで、それが無理ならそのような無理強いをしてまで行事をする必要はないと思う。教職員のライフ・ワーク・バランスを云々するなら学生にも同様にすべき。

<教職員>

- ・自分の業務の大変さについての不平不満ばかりを言う教員や、自分の権利ばかりを主張し業務遂行に支障をきたしている教員が多くいることは残念だと感じている。本校の教員である以上、日比谷高校に求められていることや学校経営計画を理解し納得したうえで、生徒たちの学力維持向上、進路実現、健全育成等、生徒たちのために最大限前向きな取組をするべきだと考える。大変だからやめよう、縮小しよう、どうせできない、といった声を様々な場面で耳にする。生徒たち、また本校を目指す多くの方々が聞いたら、いったいどう思うのか。逆行している現状を是正し、日比谷高校の教職員が同じ方向を向いて、組織的・協力的に職務を遂行できる職場環境づくりを真剣に考えなければならない。日比谷高校の問題は、今まさにここにあると感じる。

② 学習指導について

<生徒>

- ・グローバルリーダー教育や英語教育を重視するのであれば、海外大学や文理融合領域を受験する生徒も認め、3年の文理選択や科目選択において自由度を高めるべきだと思う。授業内容においても、特定の大学を志望している生徒を中心に考えているのか、授業の難易度が全体のレベルに対して高すぎる場合がある為、難易度別授業を増やしてほしいと思う。
- ・結果的に全ての項目をやる必要があったとしても、一年生という比較的時間がある時期に各々が重要視する項目を学習するのが良いと思う。ただ、一年時に進路が決まっていない人もいるため、①物理・化学/日本史・世界史②生物・化学/公民・地理のように、大きく二つに分けて、希望する生徒はそちらへ、特にない生徒はランダムで割り振るシステムなら可能だと思う。もちろん他にも、選択授業との兼ね合いや希望者が定員を超過する可能性など、解決すべき問題はある。しかし一方で、私含め医学部を志望するものは、多く持っている不安も、理解していただきたい。

<保護者>

- ・睡眠時間を削るくらいなら、課題はできなくてもやむを得ないという発信を指導の中で教員から生徒にしていきたいですし、各教科で課した量、期限が重なっていないか、教員側がもし同じ量を同じ期限で課された場合、現実的にこなすことが可能なかなど、横断的に検討、判断するチェック機能を作っていただきたい。
- ・1年の時に授業が機能していない先生のことは面談で複数人が伝えていたのにも関わらず改善してもらえず、学校側のフォローが何もありませんでした。今もその科目は苦手なままで個人の努力でしか挽回する術がないことが非常に残念で憤りを感じております。

<教職員>

- ・才能豊かな生徒が集まっているので、もっとその能力を伸ばすような教材研究の時間を確保できるといい。そのためにできることの一つとしては、会議の回数を減らす、資料読み上げを会議でしない（よめばわかるしっかりした資料の作成）と会議の時短も工夫できるのではないかな。

③ 進路指導について

<生徒>

- ・進路指導には不満がある。例えば、僕は面談で、「進学振り分けが魅力的なので東大に行きたいです」といったときに、「それなら推薦とかもおすすめだよ」と言われた。しかし実際は、推薦では進学振り分けを利用できない。このことから僕は「学校側は僕がその大学に行きたい理由ではなく「行く大学」だけを見て判断しているのだろうか」と感じてしまった。もしかしたら面談担当の先生が「推薦では進学振り分けを利用できない」という知識がなかっただけかもしれないが、いずれにせよ進路指導に問題があると言わざるを得ない。そのほかにも周りの人から面談で問題になりうる発言をされたという話を何件か聞いた。学校の問題というより先生一人の問題なのかもしれない（僕は一年生なのでまだ面談を一回しか経験しておらずほかの先生についてはわからないため）が、改善をしてもらいたいと思う。

<保護者>

- ・先生によって学習指導のやり方が違ってしまうのは致し方ない事と理解できますが、進路指導の熱量が先生によって大幅に違うのは、何とかならないものかなと思います。三年生になっても今のままだと大変困ります。今も困っていますが。

<教職員>

- ・現在の進学実績は、教員がプライベートを犠牲にして、無理をして成り立ってきた部分もあると感じます。また、「大変なのはわかっているけど（自分もやってきたから）・・・」というような枕詞をつけて、何も手助けなしにオーバーワークを強いる風潮があります。それを是正する動きに対して「甘えている」「実績が崩れる」「プロ意識がない」という考え方をする教員が一定数いるため、この学校で働きたいと感じる教員が減ってしまうのだと考えています。

④ 生活指導・学校行事・部活動について

<生徒>

- ・身だしなみについて様々な規定がありますが、規制する理由があまり明確でないので、多くの生徒が身だしなみ指導に対し疑問を抱いています（これが、服装ルールを守らない生徒が減らないことの一つの原因だと思います）。服装・身だしなみ指導の前に、今一度目的を明確化してほしいです。
- ・先生らがお忙しいのは承知ですし、生活指導の改善にも尽力して下さりありがたいのですが、自主自律を履き違えて横暴な振る舞いをする素行の良くない生徒が見受けられると思います。私も何も人の事を言える立場では無いですが、ご指導が行き届いていないように見えるのは、先生たちが過剰に忙殺されている事もあるのではないかと思います。可能ならばもう少し生徒たちの様子も見てくださると良いのかなと思います。

<保護者>

- ・土日祝の登校が多く、休める日がありません。部活動が平日4日と休日にあり、土曜講習がある週は土日共に休めず、1ヶ月休みなく登校する月もあります。また学祭などの振替日にも部活があり、全体合奏や外部講師の指導などが設定されているため、休みにくいです。本人は部活が楽しく登校しますが、体調が心配です。学校の振替休日には部活を設定しない、または土日祝に部活があっても任意での参加にできるような配慮していただきたいです。
- ・日比谷の中でも厳しい方の部活に入ったが、それにしても、学校で決められている部活の制限をここまで平然と無視している、それが常態化しているのには驚いた。朝練は部活ではないという言い訳のもと週6日の活動、1日2時間の原則も完全無視、グラウンド整備や片付けも入れると3時間を常に超える拘束時間。大会前だからと、定期考査1週間前にはほぼ毎日部活。日比谷高校は、自身を部活で有名にしたいのか、東大合格者数で有名にしたいのか。限られた時間の中で、定期考査と大会のどちらが優先されるべきか、顧問は思い違いをされているよう。校長がしっかりとビジョンを示すべきだと思う。

＜教職員＞

- ・校則の改訂について、生活指導部から「都の命令で校則について生徒と話し合いを持つことが求められている」という説明があったが、これは生徒の要望をすべて聞き入れることを意味するものではない。生徒からの要望がそのまま検討されており、慎重に議論されていないと感じる。校則の見直しは、生徒指導提要に基づき、不適切かつ非合理的な校則も見直すためのものであることを前提とし、日比谷高校として教員として慎重に検討することが必要であると思う。

⑤ SSH・グローバル事業・その他について

＜生徒＞

- ・「読書指導」というのがあるのを初めて知った。「グローバル事業」「防災教育」も、ぱっと思いつくほど活動がない。僕のアンテナがしっかり張られていないのも原因の一つかもしれないが、一方でこのような人は多いのではないかとも思う。もう少し認知を広めるべきではないか。
- ・GE-NET20 の活動で海外派遣研修メンバーに選ばれている人がほとんどインターナショナルスクール出身か帰国子女である点を改善してほしい。海外経験がある生徒より、むしろ、今まで海外に行く機会がなかったが学校機関を通して比較的安価に渡米できる生徒を積極的に選ぶべきであり、英語の面接試験などでいかにネイティブスピーカーのように喋っているか、提出課題英語の内容のなどによって判断する方針を変えてほしい。

＜保護者＞

- ・グローバルに参加しておりますが、今年の海外組は蓋を開けてみると、ほぼ帰国子女の方ばかり。何のためのグローバルなのか、残念でたまりません。海外経験のない、努力して英語を会得している人にはチャンスがないのでしょうか。そのために入学してきた生徒もいるはずです。せめて、帰国子女とそうでない人で枠を設けていただきたいです。我が子は他で経験させていただき、とても恵まれ、国内組で良かったと申しております。人選について再考をお願いしたいです。
- ・子供が事あるごとに家庭での防災対策について意見を言っていたので、学校で学んできたのかなと思っていました。（元々そんな事をいう子ではなかったので）読書に関しては、あまり好きではない子でしたが、図書館は素晴らしいと思っていました。読書が苦手な子でも、興味を持って取り組める様な環境が整ったら良いなと思っていました。

＜教職員＞

- ・管理職を中心にもっとドラスティックに変えていかないとこの先もっと教員から敬遠される学校になる

評価結果考察

① 学校経営・学校生活全般

- ・生徒の91%（3ポイント増）、保護者の96%（昨年同様）、教職員の73%（22ポイント増）が肯定的回答をしている。生徒・保護者は90%を超えているので肯定割合は非常に高い。教職員の回答の、「わからない」が8%である。教職員面接等を通じて、状況を確認していく。
- ・教職員の生徒への相談体制については、生徒の肯定的な回答は91%（3ポイント増加）、保護者は91%（10ポイント増加）。教職員85%（2ポイント増加）。三者とも85%を超えるので、相談体制は適切に実施されていると考えている。
- ・「いじめ防止」の取組については、肯定的な回答が、生徒66%（3ポイント増加）、保護者50%（2ポイント減少）教職員86%（11ポイント増加）であった。昨年度と同様に、保護者の48%（3ポイント増加）、生徒の24%（1ポイント増加）が「わからない」と回答している。いじめ防止対策問題は非常に重要なので、学校の取組みを生徒・保護者に理解してもらう努力を更に続ける必要がある。
- ・自由記述では、学校生活、学習、学校行事への要望が第一に挙げられた。今年度も、地球温暖化の影響もあり、特に空調の早期使用への要望が強く挙げられた。例年同様に、施設（自習室）と購買（品数）に関する要望も多数寄せられた。

② 学習指導・進路指導

- ・学習指導の「生徒の個性を伸ばし進路希望実現に結びつくような学習指導が行われていると

思う」については、生徒 83%（3ポイント増加）、保護者 81%（1ポイント増加）、教職員の 78%（4ポイント増加）であった。三者とも 75%を超えた。本校の様々な取り組みが一定程度評価されたものと考えている。さらに、生徒・保護者から一層の信頼を得られるように授業改善に努め、学習指導の向上に励んでいく。

- ・日比谷高校の学習指導で評価できる項目については、生徒は「45分7時間授業」。保護者は「英語・数学の習熟度別授業」を高く評価している。昨年と同様、生徒は、「2年まで共通履修」、保護者は、「3学年の選択科目」の評価が最も低い。教科主任会等を通じて、分析・検討することが求められている。
- ・進路指導の「学校は生徒や保護者が必要としている進路情報を十分に提供していると思う」については、肯定的な回答が、生徒 87%（4ポイント増加）、保護者 82%（1ポイント減少）、教職員 81%（12ポイント増加）と三者とも 80%を超えているので、本校の進路指導への評価は高いと受け止めている。
- ・自由記述では、進路指導の項目にて、昨年度同様に「経験豊富な先生に、現実だけを見ず最後まで伸び続ける現役生の可能性を信じて励ましてくださった。また、様々な創意工夫した授業を積極的に実施し、他の都立高校よりも学びに対する学校側の熱意を感じた」等、令和 6 年度卒業生や保護者からは感謝の声が多かった。昨年同様に、授業や講習、進路指導、三者面談に関しては、評価して頂ける声が数多くみられた。この声が示すように、例年以上の進学実績を残せたと受け止めている。また、例年同様に、東大、医学部医学科、京大、一橋大、東京科学大、以外の進路情報及び下位層の生徒に対する学習指導・進路指導の充実を求める意見も多かった。

③ 生活指導・学校行事・部活動

- ・「生活指導の方針が明確で、それに基づいた指導が行われていると思う」への回答は、生徒 79%（4ポイント増加）、保護者 75%（5ポイント減少）、教職員 46%（2ポイント増加）と、生徒、保護者からは、評価を得ている。一方、分らないという回答が、生徒 7%（1ポイント減少）、保護者 21%（5ポイント増加）と一定程度あるので、更に努力する必要がある。
- ・日比谷高校の生活指導で評価できる項目は、「生徒の自主性や自律性を育てる指導」の外は、三者ともに半数を超えない厳しい回答結果となった。昨年度同様、全ての項目で早急の対応を図ることが急務であると考ええる。
- ・「学校行事は生徒の個性を伸ばし豊かな人間性を育んでいると思う」については、今年度はコロナ禍以前の従来通り、体育大会、合唱祭、星陵祭を実施した。この結果、肯定的な回答が、生徒 87%（2ポイント減少）、保護者 95%（2ポイント減少）、教職員 90%（昨年同様）であった。肯定割合は、三者とも 85%を超えるので高く評価されていると考える。
- ・「部活動は教員の適切な指導の下で生徒の自発的・自治的な活動が展開されていると思う」については、生徒 85%（1ポイント減少）、保護者 84%（2ポイント減少）、教職員 65%（12ポイント増加）と肯定的な評価である。生徒・保護者とも貴重な時間であると受け止め、高評価につながったと考えている。
- ・自由記述では、例年提出されている意見である、生活指導を「もっと厳しい指導を求める」と「生徒の自主性を重んじた指導を」との意見が寄せられることが少なかった。また、例年同様に「校舎内の清掃の徹底を求める」との意見も多かった。
- ・部活動については、生徒・保護者・教員の三者がともに貴重な時間を過ごせたとの理解を示したコメントが多かった。しかし、今年度も顧問の部活動に対しての関わり方の違いに、不満を持っている生徒、保護者が一部に見受けられた。

④ グローバル事業・防災教育・読書指導・その他

- ・「スーパー・サイエンス・ハイスクール（SSH）の取り組みは生徒の知的探究心の向上に役立っていると思う」については、肯定的な回答が、生徒 66%（3ポイント減少）、保護者 75%（4ポイント減少）、教職員 73%（1ポイント減少）と三者とも 65%を超え、ほぼ肯定的な評価である。本評価結果に基づいて、SSH の取り組みは生徒の知的探究心の向上に役立っていると考ええる。
- ・「東京 GE-NET20 の取り組みは生徒の知的探究心の向上に役立っていると思う」については、肯定的な評価は、生徒 64%（3ポイント増加）、保護者 65%（4ポイント減少）、教職員 82%（2ポイント増加）であった。保護者の 32%（4ポイント増加）、生徒の 30%（2ポイント増加）が「わからない」と回答している。年度当初にグローバル委員会に所属しな

いと、「省庁・企業・大学訪問研修」に参加できないことが影響していると考えられる。

- ・「防災訓練、防災講話などを通して自分と他人の命を守る態度の育成を図っていると思う（防災教育）」については、肯定的な回答は、生徒 77%（5ポイント増加）、保護者 63%（1ポイント増加）、教職員 83%（14ポイント増加）であった。防災教育は、自分や家族、地域と関わりのある人の命を守る悉皆訓練の場でもある。生徒、保護者の肯定的な回答が 80%になるよう、今後も実施内容や方法を工夫する必要がある。

⑤ 学習時間・塾や予備校に関して（生徒のみ）

- ・学習時間は、学年の進行に伴って増えている。
 - 3年：3時間以上は 72%（昨年 76%、一昨年 69%）
 - 2年：3時間以上は 29%（昨年 26%、一昨年 21%）
 - 1時間～3時間は 61%（昨年 60%、一昨年 70%）
 - 1年：2時間未満は 63%（昨年 60%、一昨年 59%）
 - 2時間～2時間は 44%（昨年 35%、一昨年 35%）
- ・通常時に塾や予備校に通っていない生徒の割合は、
 - 3年：4時間以上は 21%（昨年 20%、一昨年 22%）
 - 2年：4時間以上は 28%（昨年 32%、一昨年 37%）
 - 1年：4時間以上は 59%（昨年 57%、一昨年 59%）

⑥ ライフ・ワーク・バランス（保護者・教職員のみ）

- ・「教職員は、自ら計画的・効率的に仕事を進め、ライフ・ワーク・バランスの実現を図っているか」については、肯定的な回答は、あまりにも少なすぎる。保護者 55%（2ポイント増加）、教職員 26%（3ポイント減少）である。より良い教育の実現のためにも、教職員のライフ・ワーク・バランスの改善が急務である。

⑦ その他

- ・自由意見は、1, 266件（昨年度 966件、一昨年度 920件）であった。総件数は、昨年度に比べて 300件増加した。記載量も昨年度より多かった。
- ・自由意見については、進学実績の向上に伴って建設的な意見が多かった。生徒、保護者の学校に対する期待と重く受け止めている。

IV 学校運営連絡協議会の成果と課題（学校評価を含む）

（1）学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

- ・進学指導重点校、東京 GE-NET20 の指定校及びスーパー・サイエンス・ハイスクールとしての具体的な取組や日常の教育活動について、保護者や地域及び学校関係者からの理解を一定程度深めることができたことと受け止めている。特に理数探究基礎・理数探究を含めた探究活動及び研究とグローバルリーダーの育成に関して、教育改革に伴う学習活動の開発・改善の取組を理解いただいた。

（2）学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題

- ・進学指導重点校、東京 GE-NET20 の指定校及びスーパー・サイエンス・ハイスクールとしての特色を伸長するために、組織的、計画的に授業の改善や教育活動の改善をさらに図り、生徒・保護者・都民の期待に応える。特にグローバル社会のなかで真にリーダーとなる人材育成について、さらなる課題をいただいた。

V 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項

（1）学校運営

- ・企画調整会議及び教科主任会議を充実させて、学校改革を組織的に推進する。
- ・主任を中心に、学校経営計画に基づく各分掌のマネジメントサイクルを整備する。

（2）学習指導

- ・教科チームとして授業内容・授業進度・定期考査問題の共通化の精度をより一層高め、集団の学びと個の学びのバランスを構築し、日比谷の教科マネジメントを確立する。

（3）特別活動

- ・行事準備時間と部活動時間との割り振りを適切に行い、効果的・効率的な運営を行い、部活動の適正実施により、学習や行事との両立を図り、質の高い学校行事・部活動を実現する。

（4）生活指導

- ・規律正しい学校生活をおくることにより、規範意識をさらに高め、服装や身だしなみにも注意して、学校行事・部活動と学習との両立を図る。

（5）進路指導

- ・実力テストや外部模試に基づく組織的な面談や相談、生徒や保護者への計画的な進路情報の提供を通して進路指導を行うとともに進路指導室を有効に活用する。
- ・進学指導検討会等で、生徒の成績データベースを基に具体的な指導内容や指導計画を検討する等、学校全体の組織的な指導により、生徒の進路希望を実現する。

(6) 健康・安全

- ・スクールカウンセラーを活用し、生徒の心のケアなど、教育相談機能の充実を図る。
- ・関係機関と連携して、避難訓練・避難所設営・防災講話などの防災教育活動の充実を図る。

VI 「学校がよくなった」と考える協議委員の割合

(1) 協議委員人数 9人

(2) 学校がよくなったと答えた外部委員の人数

そう思う	多少そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	分からない	無回答
3	3	0	0	0	0	3

(3) 協議委員の評価アンケート・コメント

- ・校長のリーダーシップと諸先生方の熱意が生徒たちの頑張りを引き出し成果を生んできていると感じています。OBの一人として、誇らしく思うと共に、今後もできる限りサポートをして参りたい。
- ・協議委員の皆様は、真剣に当校の全てのことを考えており、どうにかして生徒たちが過ごしやすく、各々持っている力が発揮できるようにと発言されているので、学校側と上手に折り合いながら、日比谷高校がより良い方向に向かっていくことを期待しています。
- ・学校の状況・課題などの事項がある程度理解できることは評価できる。しかし乍ら、時間が限られているのであまり詳細な議論はむずかしいとされる。
項目を絞った委員会とか審議会ではないので、運営はよく考える必要があるとは思料されるが、年3回程度の会議のうち1～2回、学校運営協議会開催時間90分のうち、1/2～1/3を特定テーマに焦点をあて、深い議論ができるようにしてはどうだろうか。
- ・生徒たちが一生懸命勉強に取り組んでいることがよく分かった。
- ・学校運営協議会の中では、教職員の方々の日々の努力は十分理解できるのですが、アンケートの自由意見を見ると、まだまだ改善の余地があるように感じます。
エアコン、学食（購買、自販機、弁当）、進路等、数多く目立つものが見られます。
保護者に対するClassiの、あるいは、ホームページのさらなる活用なども望まれるようです。
これらのアンケートの結果は、Classiで公開されているのでしょうか。共感を抱く保護者もいるかもしれません。
- ・日比谷高校に在籍する生徒にとって、有意義な高校生活となることを目指して、校長先生をはじめとする教職員の方々の多大な努力が傾注されていることを理解し、改めて感銘を受ける学校運営連絡協議会であった。
学校運営連絡協議会の開催に当たっては、資料作成等で時間を取られることが多かったと想像されるが、一年を区切りとして、活動を振り返る機会として、ポジティブに捉えたい。
全校アンケートの内容については、様々な意見が率直に出されていることを高く評価したい。
できれば、生徒からの意見については、直接的でなくても回答のようなものを示すことで、自らの意見を持つことの意義を感じさせることができるのではないかと感じた。

VII 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

- ・開催形態は、対面式である。職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加の機会は、設けなかったが、学校運営連絡協議会で出た意見は、分掌会にて検討し、改善事項を企画調整会議に挙げていく方式をとった。